

## 木村 純一

移住促進経費について、①この目的は、団塊の世代を対象に、北海道に移住してもらおうというのが当初の目的と認識しているが、具体的効果は何か  
②登別市独自の支援策を立て、登別らしさが見える取り組みをしてはどうかと質した

## 木村 俊子

子育て支援センターの図書貸し出しが年ごとに増加している。子育て中の保護者にとって子どもたちの心と言葉を育てる「本」が必要と考える。ぜひ移動子育て支援センターでも、図書の貸し出しを行うべきではないかと提言した。

## 沼田 一夫

児童・生徒が減少する中であつて市直営でこのまま給食事業を続けて行くのはいかがか。民間委託する考えはないのか。

学校給食法により色々な制限がある。これを委託業者が行うとなれば経費削減にはならず、委託は厳しい。

## 天神林 美彦

観光ボランティアガイドが発足20年を迎えるが、行政としての評価と今後の支援体制について聞きたい。

訪れる観光客に対して「おもてなしの心」で接していただき、大変感謝している。今後さらさら支援体制を強めて行きたい。

## 成田 昭浩

「ふるさと大使事業」への取り組みと事務事業評価の成果達成度について  
任命後のアプローチ、バックアップがマンネリ化してきている。成果達成度の設定も含め、タイムリーな情報提供の方法などを、見直す方向で検討していきたい。

## 渡辺 勉

「全国市民オンブズマンによる報告書」では、市政全般にわたる工事請負費の落札率が96・6%の場合は「談合疑惑が極めて強い」としている。この落札率を90%に下げれば市財政のかなりの部分を節約できると提言。今後の改善を求めた。

## 平田 江美子

介護保険会計では積立金約5億2千3百万円。65歳以上の一人当たりの基金保有額は3万7千円超で、全道2番目に高い。従って、第4期介護保健福祉計画においても保険料を上げないように質問。維持に向けて慎重に検討するとの答弁。

## 山田 新一

サンライバスキースキー場について。修学旅行生の呼び込みや、ナイター滑走の魅力による入り込み客の増加を目的に、ナイター設備を増設すべきではないか。

年々降雪量が減りつつあり、費用対効果を含めて検討する。

## 赤根 広介

除雪事業について、前年度比較で、予算、委託事業者数共に減少という状況である。今年度は例年以上に交通事故が起きていることもあり、市民の生命を守るためにも、前年度の反省を踏まえた円滑な事業が実施されるよう強く訴えた。

## 辻 弘之

高額療養費未請求問題に関わつて、「高額療養費戻入金」の調定額算出手法の不具合を指摘。調定額全般に渡つて、見直し検討するとの答弁。  
その他適切な畜犬登録を質問。個人ブリーダーなどの実態調査を行なうとの答弁。

## 西村 孝夫

職員の大量退職・業務量の増大に備えて、再雇用制度を検討すべきではないか。

組織力を維持するには経験、知識を持つている人が必要で、新たな制度設計に向けて平成21年度中に方向性を見出したい。

## 山口 賢治

地域イントラネット経費に関連し、光ファイバー回線(高速通信)が、未だに利用できない地域への対応について質問した。特に中登別地区は、観光業界の方々が居住する地域でもあり、通信業界に対し、積極的に実情を伝えるよう強く要望した。

# 議会まめ知識

## ● 予算

自治体の予算(歳入歳出予算)は、自治体がその年度に実施したい事務・事業にどれほどの経費をかけるか、また、それを賄うために必要な財源をどのように調達するかを計画し、これを金額で表示したものです。予算は、その自治体の1年間の収入と支出の見積もりであると同時に、住民に対しては、どれほどの公租公課を義務づけることになるか、また、どんな行政サービスを行つて福祉向上に努めることとするかを約束するものといえます。

## ● 決算

決算は、歳入歳出予算に基づく収入と支出の結果を集計した計算書であり、予算を執行し、どのような成果を挙げたかを示す成果報告書でもあります。  
議会は予算が適正に執行されたかを審査するとともに、各資料に基づいてその行政効果や経済効果を審査し、住民の代弁者として執行状況を評価します。決算の審査結果は後年度の予算編成や行財政運営の改善に役立てるため、きわめて重要な意義があります。